

小テスト補足

- 小テスト前
 - 他のすべてのアプリを終了せよ
 - 資料配布フォルダの **08_exam** というフォルダをデスクトップにコピーし、そのフォルダ名を、年-組-番号に変更せよ
 - 提出用フォルダ開き、2つのプログラムをProcessingで起動せよ
 - プログラムには作成者の名前と年組番号を最低限記入せよ
- 小テスト中（小テスト中の提出はなしになりました）
 - 各プログラムは、毎回実行する前には必ず保存するようにせよ
 - 不正が疑われるような行動はしないようにせよ
 - ファイルアクセスの履歴はすべて記録されていますし、前方監視しています
 - 小テスト終了までにプログラムを保存しProcessingを終了せよ
- 小テスト後
 - 指定の時間までに年-組-番号フォルダを提出せよ。その際、キーボードには触れないようにせよ
 - 他人のフォルダに提出しないように注意せよ
 - 保存されておらず中身の無いファイルが提出されている事もありますので注意

第8回 小テスト: examA

- 0番から9番までのカードがランダムに選択されるとする。100枚引いたときのカードの枚数分布はどうなっているか結果を表示せよ
- なお, 出力は下記のようにせよ
- 配列の定義は下記で行うことができる
変数の型 [] 配列名 = new 変数の型 [要素数];
例えば, 「int[] cards = new int[10];」
で10枚のカードのための配列を定義できる

```
0 番目 12 枚
1 番目 12 枚
2 番目 7 枚
3 番目 7 枚
4 番目 10 枚
5 番目 14 枚
6 番目 13 枚
7 番目 12 枚
8 番目 6 枚
9 番目 7 枚
```

第8回 小テスト: examB

- 双子素数とは、2つの素数の差が2である素数のペアのことである。
- 1000までの双子素数を下記のようにすべて標準出力するとともに、その総数を出力するプログラムを作成せよ。出力においては下記のルールを守るようにしてください。
 - 下記の数値を決め打ちで出力は不可
 - ペアとなる素数は丸かっこ内にカンマ区切りで書く
 - 丸括弧のあとにカンマがあるものは許容するが、できるだけ右側の出力に沿うようにせよ

```
(3, 5)
(5, 7)
(11, 13)
(17, 19)
(29, 31)
(41, 43)
(59, 61)
(71, 73)
(101, 103)
(107, 109)
(137, 139)
(149, 151)
(179, 181)
(191, 193)
(197, 199)
(227, 229)
```

```
:
:
```

1000までの双子素数の数は**個です

プログラミング演習I (第8回) 課題

• 発展① スケッチ名: mouseGraph

- 800x400のサイズのウィンドウを作り, 800フレーム分の各フレームにおけるマウス移動量をグラフとして表示せよ
- ここで右端を800フレーム前, 左端を現在のフレームとせよ
- なお, 前のフレームから今回のフレームまでのマウスの移動量は下記の命令で取得することができる

```
dist( pmouseX, pmouseY, mouseX, mouseY );
```

sketch_170629a



グラフは, 右へ動いていく

この問題を出しますが,
頭の中で考えるだけに
して, 実際にプログラムは
しないでください

